



年 組 名前

道新でワークシート

湿原の青 生命の輝き

キタサンシヨウオ産卵

【釧路】釧路湿原に生息する絶滅危惧種の両生類キタサンシヨウオが繁殖期を迎え、日没後、暗闇の中で水中のヨシに卵を産み付けている。卵を包む袋「卵のう」は光を浴びると青白く輝くことから、「湿原のサファイア」とも称される。キタサンシヨウオは体長11〜13センチほどで、国内では釧路湿原や十勝管内上士幌町など限られた地域でし



青白く光るキタサンシヨウオの卵のう (小松巧撮影)

か確認されていない。釧路湿原での産卵は例年4月上旬からだが、今年は3月下旬に始まった。キタサンシヨウオを研究するNPO法人環境把握推進ネットワークPEG（釧路市）の照井滋晴代表（40）は「3月の気温が高く、雪解けも早かった」と説明する。キタサンシヨウオは釧路湿原の生息地で太陽光発電所の建設が相次ぎ、2020年に環境省のレッドリストで絶滅危惧種に指定された。釧路市は現在、建設を規制するガイドラインの作成を進めている。（松井崇）

2023年4月21日（金）朝刊 全道版 26ページ（記事は再編集しています）

- ① 卵（らん）のうが、「湿原（しつげん）のサファイア」とも称（しょう）されるのは、なぜでしょう。11文字で書きぬきましょう。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

から

- ② キタサンシヨウオの体長は、どれぐらいでしょう。

- ③ あなたなら、この青白い卵（らん）のうを何にたとえますか。「〇〇のような卵のう」で答えましょう。